

みんなの ひろば

シリーズ 80
生涯学習

規約を設け

子ども会

関係者を表彰

三隅町子ども会育成連絡協議会は、今年度「子ども会の日」を制定し、会の活性化を図りました。同時に活動熱心な団体や個人に対しての表彰規定も今回制定、平成7年度表彰は、「子ども会の日」の12月17日に行いましたので、次のとおりお知らせします。



▲ 受賞する子ども会代表者

【指導者】
岡村 榮一さん（豊原）
高野 實さん（湯免）
和木坂れい子さん（一の瀬）
子ども会活動は、異年令の子ども達が集まり、役割を分担しつつ助け合いと奉仕の精神や感謝と喜びの心を培うことを目的としています。「子ども会の日」を中心に、活動が振興してほしいものです。

【子ども会組織】
●宗頭 子ども会
●市 子ども会
●野波瀬子ども会
●小島・下東方子ども会
以上の4子ども会は、定例会があり、地区内の施設（バス停、お宮等）の掃除等の奉仕活動を継続的に行ってきたことが認められたものです。

施設だより

26

『むらづくりの拠点として』

～ 宗頭文化センター ～

昨秋、当センターを拠点としてむらづくりに尽くされた上地区発展対策協議会が、長年の結集した努力が実り、平成7年度第34回農林水産祭で、「むらづくり部門」において天皇杯を受賞され、本年1月18日に山下栄会長と椋木清英副会長が天皇杯の返還に宮中に参内されました。天皇皇后両陛下に謁見してむらづくりについてのご説明を申し



▲ 天皇杯レプリカ

上げ、両陛下からのお言葉を親しく賜り、天皇杯のレプリカを拝受し、晴れの大使を果して帰町されました。宮中には当地区の農産物五点（久行洋祐氏のつくねいも、山



▲ 食品研究学級（調理実習）

に入り、みんな良い成績であったことを喜んでいきます。各学級とも、7年度の目標を概ね達成し、和気あいあいのうちに反省や次年度の計画について熱心に話し合われています。次年度も、皆さんのますますのご活躍を期待しています。

わされるようになりました。植物学級の押し花は一段と技量があり、盆栽ともに次年度は目標を高いところにおいて検討されています。書道教室では成人は条幅になじみ、小中学生ともに熱心に筆に親しみ技量が上がっています。希望者11名の作品を九州、山口県の読売学生書展に出品し、特選1名、金賞、銀賞各3名、銅賞2名、佳作2名

県正幹氏のイチゴ、田辺英雄氏の水耕栽培ネギ、百円市場前のファイン21でつくられたホールレソウ、上地区味噌加工組合の「みすみ味噌」さらさら三世代交流で指導を受けた西村延三氏によるしめ飾り、またポテトクラブが作られた廃油によるセツケン、矢次ウメコ氏ほか3名の人形グループが作られた腰輪踊り人形2体も展示され、両陛下のお目に入れられました。発展対策協議会は勿論のこと、三隅町を挙げて慶ぶべき事と思えます。



▲ ポテトクラブ(わかな会との交流会)